

制 定	平成 22 年 2 月 4 日
一部改正	平成 24 年 4 月 1 日
一部改正	平成 25 年 4 月 1 日
一部改正	平成 26 年 4 月 1 日
一部改正	平成 27 年 4 月 1 日
一部改正	平成 28 年 4 月 1 日
改 正	平成 29 年 4 月 1 日
一部改正	平成 30 年 4 月 1 日
一部改正	平成 31 年 4 月 1 日
一部改正	令和 2 年 4 月 1 日
一部改正	令和 3 年 4 月 1 日

## 基本方針

鹿児島純心女子短期大学（以下「本学」という。）は、「聖母マリアのように 神さまにも人にも喜ばれる女性の育成」を建学の精神とする高等教育機関です。

本学はキリスト教ヒューマニズムに基づく人間教育により、豊かな人間性と高い専門的能力を備えた女性を育成し、社会の持続可能な発展と平和に貢献できる人材を輩出することを目的とし、日々教育と研究とに邁進することを使命としています。

この基本方針に基づき次の三つの方針を定めています。

### ○卒業認定・学位授与の方針

本学における卒業認定・学位授与の方針を定めたものです。

次の要件を満たした者に対して、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、学位規程の定めるところにより短期大学士の学位を授与します。

（要件）

卒業認定・学位授与の方針に掲げた学修成果を身に付けるために編成されたカリキュラム(教育課程)に則り、本学が定める期間在学して所定の科目を履修し、予め定めた成績評価基準に基づき単位を修得した者

### ○教育課程編成・実施の方針

卒業認定・学位授与の方針に掲げた学修成果を身に付けるための教育課程編成・実施の方針を定めたものです。

### ○入学者受入れの方針

卒業認定・学位授与の方針に掲げた学修成果を身に付けるために備えておいてほしい基礎的知識や能力を示したものです。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

### 全学共通

#### 区分1 知識・技術・理解

- ・ 豊かな人間性を育み、社会的・職業的自立の基礎となる多様かつ調和のとれた教養教育を実施する。
- ・ 「キリスト教概論」を通して、キリスト教ヒューマニズムに基づく本学の教育理念の理解を深める。
- ・ 「人間学」を通して、人間の本質を深く考察し、自分自身と他者の存在を理解・尊重する精神を養う。

#### 区分2 汎用的技能

- ・ キャリア教育科目を通して、自立した生活者としての基本的な技能を修得させる。
- ・ 言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を高める。

#### 区分3 態度・志向性

- ・ 高等学校等からの連続性に留意した基礎教育に加え、初年次教育等を実施して円滑な高大接続を図る。
- ・ 自らを律し心身の健康を向上・維持させる力を養い、学び続ける姿勢を涵養する。

#### 区分4 統合的な学習経験と創造的思考力

- ・ 新たに出会う課題について、それまでの学修経験を統合的に活用して現状を分析・課題を明確化し、最適解を導く力を身に付けさせる。
- ・ 地域社会への理解を深め、その課題と主体的に向き合う力を養うため、複眼的視点で社会を捉える機会を提供する。

## 【各学科・専攻・コースの教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

### 1 生活学科 生活学専攻 現代ビジネスコース

#### 区分1 知識・技術・理解

- ・ 知識・技能を段階的に身に付けさせるために、科目の量と質のバランスを考慮して、体系的に教育課程を編成する。
- ・ 変化するビジネス環境・経営環境に柔軟に対応することができるよう、現代的課題に関する基本的な知識を身に付けさせる。
- ・ キャリア選択に応じて専門的実務に必要な知識・スキルを修得させ、自ら活用できるだけでなく、支援・指導できるレベルにまで高めることを意識して教育課程を実施する。
- ・ 社会生活を充実させ、その環境の改善に働きかける力を高めるために、良識ある女性としての教養を培う科目を配置する。

#### 区分2 汎用的技能

- ・ キャリア選択の幅を広げるために、幅広い業務に対応できる基本的な知識とビジネススキルを修得させ、社会と自分を知る力を養う。
- ・ 1年次には、ICTの基本知識・スキル・情報倫理・セキュリティ等を学修する科目を配置し、思考力・判断力・表現力を高める。
- ・ 2年次には、ICTを活用し、情報収集・分析・編集・表現・発信を創意工夫して、実践的な課題に取り組む科目を配置する。

#### 区分3 態度・志向性

- ・ 自己管理能力・学びの継続力を高めることを意識して、科目を配置し、実施する。
- ・ 他者と協働して学ぶ姿勢を修得させるため、チームとしての活動の場を積極的に活用する。

#### 区分4 統合的な学習経験と創造的思考力

- ・ 状況を適切に判断し、課題の設定とその解決に取り組む演習および実習を行い、多様な職業能力の基盤となる課題発見・解決力を高める。

## 2 生活学科 生活学専攻 デザイン表現コース

### 区分1 知識・技術・理解

- ・ 多面的な尺度で“美しさ”を考えさせることを意識して、教育課程を実施する。
- ・ 生活の基本である衣・食・住に関する基本的知識および技術を修得させる。
- ・ 創造的な表現の基礎とするために、基本的知識や表現手法を理解させ、基礎技能を修得させる。
- ・ 意図に応じて適切に材料や用具を扱うために、その特性を十分に理解させる。
- ・ 地域社会や伝統的文化のもつ意味や美しさ、歴史的・社会的背景等の学修を通じて、地域理解を深める。

### 区分2 汎用的技能

- ・ 思考力や判断力を高めるために、主題に沿った表現方法を徹底して追及し、創造的な表現の構想を練る機会を設ける。
- ・ 受け手のことを十分に意識したうえで、手順や手法を吟味し、工夫して表現する能力を育成する。
- ・ 演習科目や実習科目では、互いの工夫や意図に気付き、認め、理解を深めるために、成果物についてのプレゼンテーションを実施することを原則とする。
- ・ コンピュータ等を活用した演習を通して、実社会で求められる実践的スキルを修得させるとともに、情報モラルの育成を図る。
- ・ 検定対策や資格取得課程を通して、社会人として必要な実務能力を修得させる。また、キャリア選択の状況に応じて必要な知識やスキルを身に付けさせる。

### 区分3 態度・志向性

- ・ 多くのことに挑戦し、その経験が将来の糧となる学生生活を送ることができるよう、適切な初年次教育を行う。
- ・ 1年次は個人の能力の向上、2年次はチーム内で個性を活かす工夫が求められるよう、教育課程を編成・実施する。
- ・ 周囲の評価を前向きに受け止めて的確に自己を評価する能力を磨き、課題を見つけ、自らを高め続けようとする姿勢を身に付けさせる。
- ・ 体験的な社会参加型学習を通して、社会の一員としての使命感や責任感を養う。

### 区分4 統合的な学習経験と創造的思考力

- ・ 講義科目と課題解決型学習との関係を念頭に置き、その学びが相互に作用して強化・定着・修正されるよう工夫する。
- ・ 複数分野を学ぶことによって、発想が豊かになることに気付けるよう配慮して、科目間の連携を図る。
- ・ 公募展や舞台発表など、学内外のイベントを積極的に活用して、得られた評価を改善につなげる力を養う。また、その集大成として卒業制作展を実施する。

### 3 生活学科 こども学専攻

#### 区分1 知識・技術・理解

- ・ 螺旋構造の学び(学び、深め、自分のものにするという過程)を支援する教育課程を構成し、保育者モデルとして示される「反省的実践家」を養成する。
- ・ 次世代を担う子ども達の健やかな育ちを支援できる保育者として、「子どもの最善の利益」を第一に考えることのできる価値観を養う。
- ・ 対人援助の現場である保育の現場で直接活かせる技術力を養う。

#### 区分2 汎用的技能

- ・ 子どもや保護者と直接関わる機会を積極的に取り入れた科目を設置し、コミュニケーション・スキルやマナーを養う。
- ・ 子どもや保護者と直接関わる際に発生する問題に対し、適切に対応できる力を養う。

#### 区分3 態度・志向性

- ・ 保育者としての課題を探究し続ける自己学習力と論理的思考能力を養う。
- ・ 保育者の責務を自覚し、真摯に学び続けようとする姿勢を涵養する。

#### 区分4 統合的な学習経験と創造的思考力

- ・ 筋道を立てて考える力、根拠に基づき判断する力を習得させる。
- ・ こども学の学びを皆で分かち合うことで、多面的なものの見方を養う。

#### 4 生活学科 食物栄養専攻

##### 区分1 知識・技術・理解

- ・ 専門教育科目群（社会生活と健康、人体の構造と機能、食品と衛生、栄養と健康、栄養の指導、給食の運営、その他）を配置して、栄養士への理解を深め専門知識と技術を修得する。
- ・ 栄養教諭と教職に関する科目を配置して、栄養教諭に必要な専門知識と技術を修得する。
- ・ 郷土の食材や料理への理解を深め関連する専門知識と技術を修得する。
- ・ 学外実習を配置して、社会人としての資質を養成し栄養士への理解を深める。

##### 区分2 汎用的技能

- ・ 実験・実習・演習科目を配置して、実践的な思考力・判断力・表現力を養う。
- ・ コンピュータ等を活用した演習を配置して、栄養士業務などの実社会で求められる情報活用能力を高めるとともに、情報モラルの育成を図る。

##### 区分3 態度・志向性

- ・ 実習演習科目を配置して、グループワークを通じて協働する姿勢を養う。
- ・ 多様な専門教育科目を通じて、学びを継続する意義と専門性の深さを理解する。

##### 区分4 統合的な学習経験と創造的思考力

- ・ 現代社会の食に関する様々な課題について取り上げ、理解を深めるとともに課題解決に向けた専門性を修得する。

## 5 英語科

### 区分1 知識・技術・理解

- ・ 英語、日本語の言語的特徴やその指導法について学習するとともに、その他の複数の外国語についてそれぞれの特徴を概略的に学んだ後、興味を持った言語について選択し、基本的なコミュニケーション能力を育成する。
- ・ 実践的な英語コミュニケーション能力を身に付けるために、体験型英語プログラムを提供する。英語で行われる授業を数多く配置し、アクティブラーニングによる少人数制参加型授業や習熟度別クラス編成を通して、使える英語を育成する。
- ・ 1年次末に実施する4週間のカナダ・オーストラリア・イギリス研修や、外国人学生の受け入れ及び留学体験等や世界地域研究等の学習を通して、郷土や我が国の伝統・文化を伝えるとともに、異文化に対する理解を深め、共生していくことを学び、グローバルコミュニケーションのできる人物を養成する。

### 区分2 汎用的技能

- ・ 国内外の様々な問題を取り上げ、その解決策を考え議論し発表することを通して、問題解決力を高める。
- ・ グローバルな社会で通用するコミュニケーション力を駆使しながら、外国の人々を相手に交渉できる論理展開を学び、実践的能力を高める。
- ・ コンピュータ等を活用した演習を通して、実社会で求められる実践的情報活用能力を高めると共に、情報モラルの育成を図る。
- ・ 社会人として必要なマナー及びグローバルなビジネス社会に対応できる実務能力の育成を目指し、各種資格取得関係科目や検定対策科目を開講する。

### 区分3 態度・志向性

- ・ 1年生全員が英語学習寮で外国人教員を交えた協同生活をすることを原則とし、単位を認定する。  
寮での集団生活や英語ミュージカルなどの体験型グループ学習を通して、他と協働し、挑戦しようとする姿勢などの人間的成長を図る。
- ・ インターンシップや国際ボランティア活動等に積極的に参加し、実社会が求める人物像を具体的に感じ取り、自らの生き方に生かすとともに、生涯を通じて学びを継続させる意欲や、企画力・表現力・行動力、さらには逞しい気力を磨く。

### 区分4 統合的な学習経験と創造的思考力

- ・ 英語ミュージカルやJEBプロジェクト等の統合的英語学習プログラムや英語によるディスカッション、ディベート等により、国際的センスや創造的な思考力を高める。
- ・ 国際交流ボランティア等で、学内外のイベントに積極的に参画し、統合的な学習経験を積み、地域への貢献を図る。